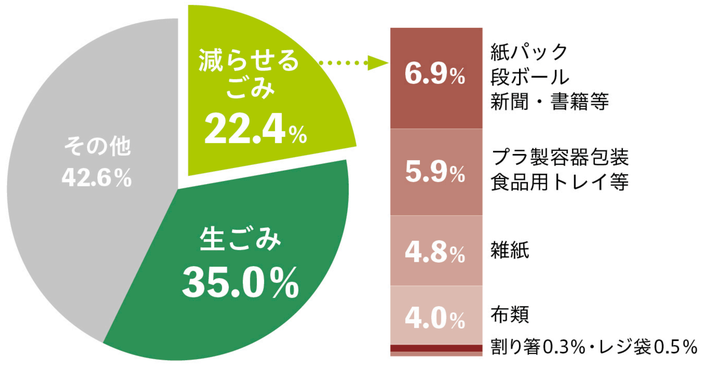
あなたのごみ袋の中身知っていますか？

生活系可燃ごみ組成分析調査結果

町では、ごみ減量化施策の浸透状況を把握し、より効果的な分別・減量の取り組みにつなげるため、令和７年度に家庭から出る可燃ごみ（生活系可燃ごみ）の組成分析調査を計４回行いました。調査の結果、ちょっとした分別や出し方の工夫で、ごみはまだ減らせる余地があることが分かりました。できることから無理なく、「今日からできる！ごみ減量３つのアクション」に取り組み、みんなでさらなるごみ減量を進めていきましょう。

計４回分の平均組成割合（%）



結果から見えてきたこと

たい肥化やリサイクルできるもの（生ごみ・減らせるごみ）の割合が５割以上を占めていました。資源として再利用できるごみの分別を徹底することで、さらにごみを減らせることが分かりました。

check 町民１人１日あたりどのくらいの生ごみを出しているの？

町民１人１日あたり
生ごみ排出量 ▶ 161.49g

令和８年１月分の町生活系可燃ごみ排出量と組成分析調査結果から推計

重さのイメージ
・ご飯茶碗１杯分
・バナナ１本分
・キャベツ外葉４～５枚分

計算方法
①R8年１月の生活系可燃ごみ排出量
143.39 t（ごみ収集）＋ 11.12 t（処分場に直接搬入）＝ 154.51 t（154,510kg）
②R8年１月の１人１日あたりの生活系可燃ごみ排出量
154,510kg ÷ 10,802人（R8年１月町人口）÷ 31日（１月の日数）× 1,000 ＝ 461.41 g
③R8年１月の１人１日あたりの生ごみ排出量
461.41 g × 35.0%（生ごみの組成比率）＝ 161.49 g

今日からできる！ごみ減量３つのアクション

可燃ごみの約1/3を占める生ごみの削減が最大の課題

1 生ごみを減らす

- 食材は食べる分だけ購入し使い切る・食べきる
- 野菜くずなどはしっかりと水を切る
- コンポストやキエーロでたい肥として資源化

リサイクルできる資源が可燃ごみに混入しています

2 資源ごみを正しく分別

- ペットボトルは、キャップとラベルを外して資源ごみへ
- 段ボール・紙パック・新聞チラシは束ねて紙資源回収へ
- 食品トレイは、汚れを軽く洗い流して分別

レジ袋や布類も工夫次第で減らせます

3 レジ袋・布類を減らす

- エコバッグを持ち歩く習慣を
- 衣類は、リユース・フリマ・譲り合いで有効活用
- まだ使える布類は、雑巾などの用途にリメイク

check 町一丸となってごみ減量化を進めていきます

廃棄物減量等推進協議会の様子

町では、町内会長やPTA、商工業、農協、町内在勤者などを構成員とした「桑折町廃棄物減量等推進協議会」を組織し、より効果的なごみ減量方法の検討などを進めています。いつまでもホタルがくる桑折町を守るため、ごみ減量３つのアクションを参考に、引き続き町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

coming soon . . .
ごみ減量を楽しく学ぶ動画を配信予定!!